

事業概要【未来を切り拓く新潟県の農林水産業支援事業】

| | | | | | | | |
|------------------------------------|---|---|--------|--|----------|----------------------------|--|
| 申請者 | 新潟県 | | | | | 初回採択回 | 令和7年度第1回募集 |
| 事業計画期間 | R7-R9年度 | | | | | 期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費) | 1,498,625千円 (536,067千円) |
| 経費の種類 | ソフト事業 | ✓ | 拠点整備事業 | | インフラ整備事業 | 事業分野 | 農林水産分野 |
| 目的・効果 | <ul style="list-style-type: none"> 国が設置するスマート農業イノベーション推進会議と連携し、最先端のスマート農業技術を実証・波及させるとともに、経営体の規模拡大を支援するなど、食糧供給基地としての役割を果たし、農業者の所得向上につながる生産体制の強化を図る。 令和5年度の暑熱被害において、本県の水稲は、収量・等級の低下を招いたことから、安定生産に向けた高温耐性コシヒカリの開発など、生産力向上につながる研究を行う。 また、県産農林水産物のブランド化や輸出も含めた新規販路開拓の支援を行うことで流通・販売力の強化を図り、生産体制強化の取組と合わせて農林漁業者の更なる所得向上を目指す。 | | | | | | |
| 事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費 | <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生産の基礎となる担い手の確保・育成支援 68,302千円 働きやすい環境整備や、多様な農業・漁業人材の確保等 ○生産体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新技術導入 139,386千円 先進的なスマート農業技術の導入促進 ・ 経営基盤強化・規模拡大 30,252千円 経営体の発展計画策定を伴走型で支援 ○流通・販売力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ ブランド化 107,808千円 ・ 販路拡大 190,319千円 県産品のPRとともに専門家による伴走型の輸出販路開拓を支援 | | | | | | |
| 地域の多様な 主体の参画 | <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関、大学教授等の参画により、経営コンサル、経済調査・研究、人材育成支援に関する知見を活かし、事業案の改良に向けた提案や指摘、事業結果の分析、評価及びそれを踏まえた改善提案を実施 ・農業関係団体等の参画により、当年度事業実績や次年度事業計画（研修会の開催等）に対する意見出しにより改善を図る ・スマート農業機械メーカー等の参画により、スマート農業技術を活用した課題解決手法を検討するプロジェクトや、水稲の低コスト・多収栽培技術や園芸産地の構造改革に資する栽培技術の実証等を連携して実施 | | | | | KPI | <ul style="list-style-type: none"> ①農業産出額（104億円） ②新規就業者数（1,020人） ③農業法人のデジタル化取組割合（15ポイント） ④県産ブランド6品目の首都圏における平均認知度（3.8%） ⑤県産農林水産物の輸出額（16億円） ⑥県産品の海外販路開拓に向けた商談創出数（355件） |